

BookXML2 プロジェクト

書籍出版社と書籍印刷業者の間の JDF 実験に関する要約

Hannele Antikainen, Pekka Siltanen 著

Version 0.1

VTT P.O. Box 1000, FIN-02044 VTT

Street Address: Vuorimiehentie 3, Espoo

電子メール : firstname.lastname@vtt.fi

ホームページ : <http://www.vtt.fi>

岸 和孝 訳

目次

- 1 紹介
- 2 PrintTalk
- 3 実験
 - 3.1 現在のプロセス
 - 3.2 書籍のサンプル
 - 3.3 JDF ファイル
 - 3.4 電子的プロセス
- 4 結論

付録

- 付録 1 JDF に対する BookXML 拡張
- 付録 2 JDF ファイルのサンプル
- 付録 3 スタイルシートを介して処理された JDF ファイル

訳注

～ [?] は不明な用語を示します。

フィンランド語の発音記号は正確に写していません。

1 紹介

この報告は、2005 年～2006 年において VTT で実行された BookXML2 プロジェクトの要約です。

次の会社がプロジェクトに参加しました。

Gummerus Oy

Gummerus Printing

Kirjavalitys Oy

Helsinki University Press

Otava Publishing Company

Otava Book Printing

Tammi Publishers

WM-Data

WSOY

WS Bookwell Oy

Xerox Oy

プロジェクトの期間中に、Otava Publishing Company と Otava Book Printing との間で JDF メッセージの交換が試されました。

本来の目標は、PrintTalk メッセージの範囲内における書籍構造の記述についての JDF の実現可能性だけでなく、ビジネスプロセスにおける PrintTalk の実現可能性に関する根拠を得ることでした。実験システムの会社は、初め WSOY と WS Bookwell (WSOY の最も大きな印刷供給者) でした。この目的のために、我々は、どのように書籍産業に PrintTalk メッセージを適用するかについて計画しました。さらに第 2 章におけるモデルで述べます。

しかし、プロジェクトの期間中に、これらの会社の IT システムが PrintTalk/JDF を試すには成熟していないことが明白になりました。さらに、PrintTalk (version 1.1, 2003 年 1 月版) の公式バージョンが現在の JDF (version 1.3) と一致しないという事実が、Otava と Otava Book Printing の間で実験システムを作り上げる意思決定に影響を及ぼしました。その変更のために、実験システムは本来の計画より縮小されました。

2 PrintTalk

プロジェクトの期間中に、書籍印刷のための PrintTalk プロセスが開発されました（図 1）。そのプロセスは、現在 CIP4 で草案段階にあって、まだ公開されていない PrintTalk 1.3 に基づいています。

PrintTalk 1.3 における主要な変更は、出版社の見積り要請に対する応答として少なくとも一つの見積り（幾つかの見積りを含むかもしれない）を含む「見積り」と呼ばれる新しいビジネスオブジェクトです。例えば、印刷業者は、対応している価格の許容範囲にある素材や代替可能な装丁の選択のいくつかを指定するかもしれません。

PrintTalk 1.3 と JDF 1.3 における他の重要な変更とは、JDF から PrintTalk に Pricing 要素を移すことでした（JDF 1.3 から Pricing 要素は除かれ、PrintTalk の将来のバージョンで公開されます）。つまり、PrintTalk では Pricing 要素を本質的に適用することができない状況でした。

図 1 における PrintTalk プロセスは、書籍製造の特徴を考慮に入れています。主要な特徴は、最初の注文が印刷業者に出された後に、書籍構造が幾度も変わるかもしれないことです。プロセスの間に、関係者は、失敗無く書籍製造が続けられように、スケジュールだけでなく、書籍構造の詳細について互いを最新にしておく必要があります。

大半の変更は、出版社の書籍デザインのプロセスから生じますが、印刷業者もまた印刷スケジュールか代替可能な印刷素材の変更を勧めるかもしれません。こうした変更が見積り要請から交渉プロセスへとつながります。

購買注文で定義された書籍構造と書名のファイルに互換性が無いことに印刷業者が気づいた時から、しばしば交渉プロセスが始められます。

これは書籍制作プロセスの性質を反映します。出版社は書籍設計プロセスがまだ進行中である時、次に扱う書籍の印刷能力を確保したいと思います。書籍構造における典型的な変更は、素材、形式、印刷予定表、部数に関係します。

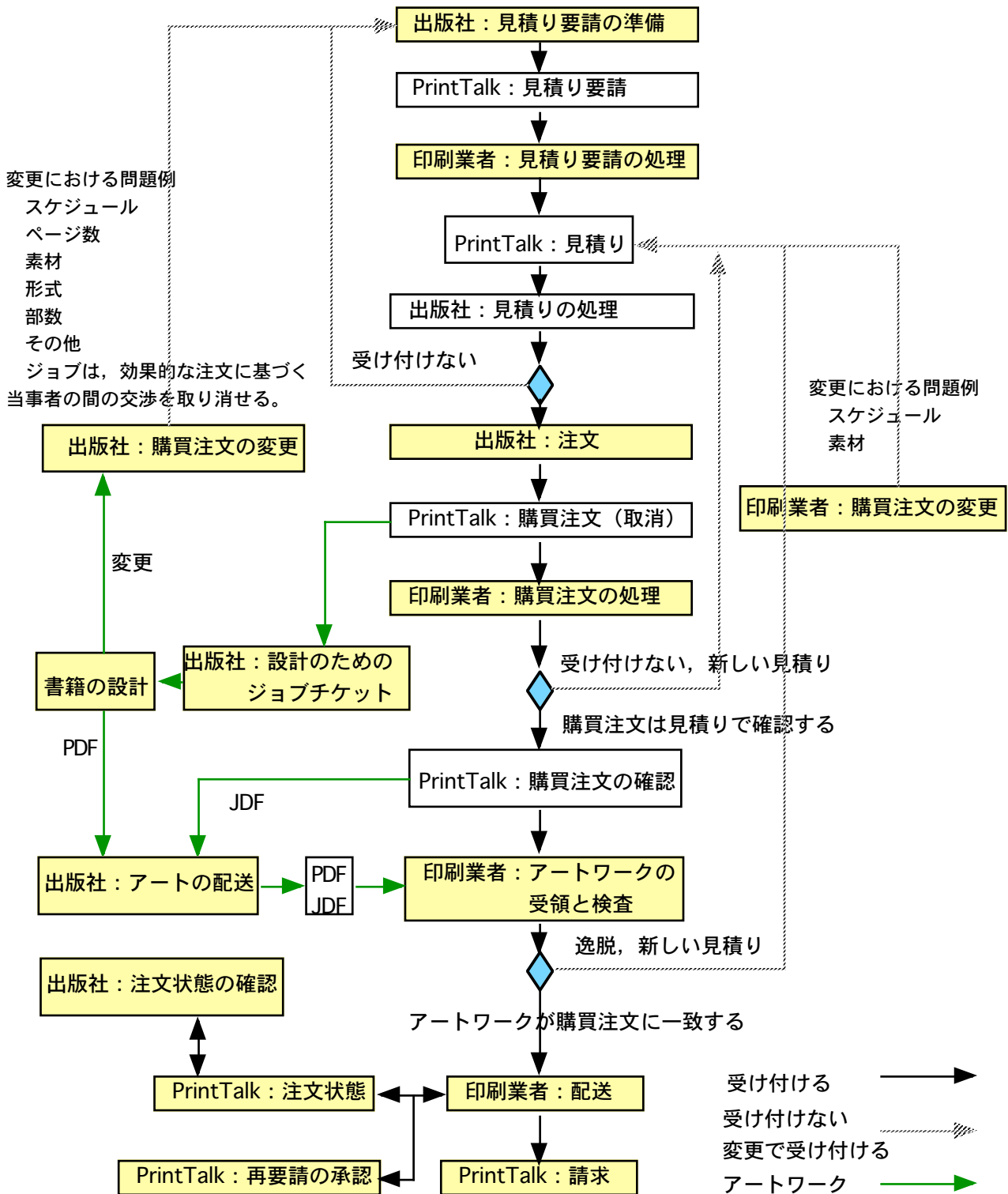
図 1 は、双方の当事者（出版社と印刷業者）がいつも同じ最新情報を互いの MIS システムで持てるように、書籍注文プロセスと書籍設計プロセスが書籍構造情報をどのように交換できるか、を概説します。

書籍注文情報（例えば、形式、素材、色分解）が書籍設計アプリケーションで利用されます。例えば、Adobe InDesign と Quark Xpress は、書籍設計についてのジョブチケットを生成します。ジョブチケットは、書籍注文に基づき、出版社の MIS によって生成され

ます。

もし逸脱があれば、書籍デザイナーは書籍の形式か紙を変えたいと思います。その場合、プロセスは修正された書籍構造情報の交換を出版社の MIS でサポートすべきです。それは印刷業者の MIS と情報の交換をかわるがわる反応させるものです。

図 1 PrintTalk に基づく書籍の出版社と印刷業者の間で転送されるビジネスオブジェクト。



3 実験

Otava と Otava Book Printing の間の実験は、PrintTalk ではなく、JDF の実現だけを要求しました。と言うのも、両社は年に一度だけ書籍印刷の価格を書籍ごとでなく取り決めるからです。Otava からの書籍注文は、注文書や作業票に近いもので、それを Otava Book Printing が受け付けます。

BookXML2 プロジェクトの期間中、BookXML 拡張が開発されました（付録 1）。見積りと制作プロセスにおいて、出版社と印刷業者が ISBN 番号と書籍名のような関連情報を交換する現行の慣例に、この拡張は対応します。書籍関連情報が印刷プロセスを管理するために使われないとしても、書籍印刷業者は、MIS システムに書籍関連情報を他の書籍構造情報と共に蓄えます。書籍関連情報は、例えば、印刷された書籍に関する再版や検索の時に、印刷業者の MIS からの情報がキーとして用いられます。

3.1 現在のプロセス

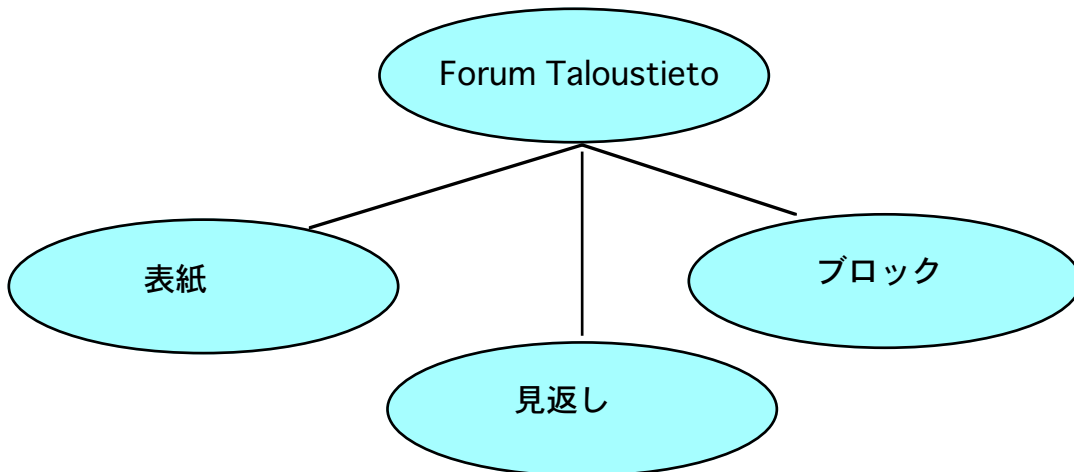
書籍編集者が製品登録伝票に手で記入した時、Otava における印刷プロセスが始まります。その伝票は、電子メールによって Otava Book Printing に送られた MS Word ファイルです。もし書籍の構造が出版プロセスの間が変わる場合、新しい MS Word ファイルが Otava Book Printing へ送られ、それに応じて Otava Book Printing の MIS は更新されます。実際問題として、同じデータがシステムのいくつかの場所で更新されなければなりませんので、マニュアルの更新は誤りがちでした。

3.2 書籍のサンプル

JDF メッセージの転送は、Otava Publishing Company と Otava Book Printing の間で試されました。我々は実験システムのために「Forum Taloustieto」という書籍を選びました。それはソフトカバー、並み製本 [?]、190 ページからなる書籍です（図 2）。Forum Taloustieto の著者は、Kauko Hanninen, Markku Liuskari, Jorma Suonio である。その ISBN 番号 (ISBN10) は、951-1-19605 で、それは再発行でかつ第 2 版です。2005 年 10 月 27 日版の配送と 11 月 15 日版の配送は、それぞれ 3000 部でした。校正の一式が仕事の担当者に送られました。彼の名前は、Mikko Rouhiainen です。目標は JDF の実現における最初の経験を積み、プログラミング工数を最小限にすることですので、我々はかなり単純な書籍を敢えて選びました。

図 2 サンプルの書籍は、表紙、見返し、ブロック [?] から成ります。表紙は、プロ

セスカラーとニスで片面に印刷されます。見返しは、印刷しません。ブロックは、両面 4 色刷りです。同じ素材コードが eGD と Kiva システムによって使用されていますので、表紙、見返し、ブロックで用いられる媒体は、在庫品コードで定義されます。



3.3 JDF ファイル

実験システムの基準として、サンプル JDF ファイルは VTT で用意されました（付録 2）。このファイルは、eGD と Kiva システムのための JDF 拡張のプログラミングガイドラインの役目を果たしました。CIP4 ウェブサイトで Check JDF を使ってファイルは検査されました。さらに、それは殆どの JDF 属性値を表示できる Adobe Acrobat 7 ヘルプポートされました。

3.4 電子的プロセス

Otava は、出版の意思決定と書籍の価格付けをサポートするために、eGD と呼ばれた価格付けシステムを最近導入しました。それは Otava Book Printing からデータに基づいて印刷コストを（他の出版社のコストと比較して）計算できます。

WM-data の eGD は、もともと書籍の価格付けのために Otava であつらえた印刷業者の MIS です。書籍のコストを計算するために、対応する詳細な書籍の構造が eGD システムに与えられます。

Otava Book Printing が印刷するために必要としている書籍構造情報の大半を eGD がサポートしていますので、製品登録伝票に基づく書籍についての JDF ベースの書籍注文を生成するモジュールをもって eGD を拡張しました。このモジュールは、WM-data によっ

てプログラムされました。それは書籍を装丁する正規のソフトカバーと並みのカバー [?] のための JDF ファイルを生成する能力があります。eGD のユーザーは、本来の JDF ファイルを見ることができ、またユーザーは、読みやすい形式にデータを変換するスタイルシートも利用できます（付録 3）。

Otava の価格付けシステムである eGD の持ついくつかの制約のために、特定の JDF 属性の値が JDF ファイルへ手で挿入されました。それらの属性は、ISBN 番号と同様に納品日でした。その後で、JDF ファイルは、Otava Book Printing に送られました。

その上、eGD と Kiva システムとの制約のために、属性のいくつかは JDF 仕様書と一致しません。これは著者と担当者の名前にあてはまります。eGD は、姓名を、JDF で必要とされるように姓名を別々の項目としないで、一つの項目として持ちます。別の制約は、担当者の名前にもあります。すなわち、JDF と比べると、eGD と Kiva には担当者の役割をサポートすることについての制約があります。

Otava Book Printing において、JDF ファイルは Kiva のディレクトリーに最初に蓄えられました。このディレクトリーの内容は、特定の時間間隔で得られ、新しいファイルは、後のプロセスのために自動的に転送されます。Otava Book Printing の製造プランナーは、リストにあるすべての到着した JDF ファイルを識別して、製造データベースへそれらを転送する前に、すべての到着したデータを検査します。

Kiva システムの JDF ファイルのプロセスは、4 段階からなります。最初に、製造プランナーは、JDF ファイルの製造番号を検査します。そのような製造番号が Kiva にすでに存在する場合、手続きはジョブデータを更新することによって続けられます。Kiva のブラウザーベースのユーザーインターフェイスは、到着した JDF ファイルのジョブデータ、すでに Kiva に現存するジョブデータ、Kiva へ転送されるようにシステムが勧めるデータを表示します。

第 2 段階において、製造プランナーは、例えば、部数、ページ数、形式、Kiva の更新を決める製造日付といったジョブの基本的なデータを検証し、ジョブデータの変更を受け付けます。第 3 段階において、製造プランナーは、さらに進み、検査し、色分解と素材を含む表紙とブロックに関連するデータを更新します。第 4 段階において、製造プランナーは、校正の数とジョブと関連する追加情報を検証します。新しいジョブについては、Kiva のジョブに関する既存のデータがない場合を除けば、第 2～4 段階の入力手続きは同じです。

4 結論

あらかじめ推定される場合、JDF ファイルは eGD によって生成され、Kiva システムによって入力されました。我々の実験における電子的データ交換のための必要条件は、書籍製造プロセスで必要とされるデータをサポートするシステムに Otava が投資することです。このシステムは、eGD またはどんなシステム（例えば、現行の Otava MIS の拡張）で実現できました。この実験では、ソフトカバーの書籍だけを扱いました。それは我々のサンプルファイルの構造に限定されました。したがってプログラミング工数には無駄はありませんでした。

しかし、製造システムへ実験を広げることは、すべての関連した書籍構造をサポートする JDF ファイルを Otava が生成することを意味します。一方、Otava Book Binding の Kiva システムは、それらのすべてに対処しなければなりません。さらに製造システムにおいて、Otava Book Printing から Otava への電子的応答メッセージが開発されました。このメッセージは、本来の JDF メッセージへの応答に関する情報を配送します。応答メッセージは、受付か、変更の受付か、拒絶のいずれかです。

付録 1 JDF に対する BookXML 拡張

ISBN 番号と書籍名のような書籍関連情報が、見積りと制作プロセスの間に書籍出版社と書籍印刷業者の間で交換されることは、フィンランドの書籍産業では慣例です。それゆえに、我々は構造化された形式の現在の書籍に関連したメタデータを扱う拡張を定義しました。

この拡張は、次の名前空間をもって XML Schema を用いて定義されます。

```
xmlns:bookxml=http://www.vtt.fi/bookxml.
```

BookXML 要素は、次のように JDF の NodeInfo 要素で配置できます。

```
<NodeInfo>
  <bookxml:BookName>Book's name</bookxml:BookName>
  <bookxml:Authors>
    <bookxml:Person>
      <bookxml:FirstName>Kauko</bookxml:FirstName>
      <bookxml:LastName>Kirjailija</bookxml:LastName>
      <bookxml:NamePrefix>Fil.Tri</bookxml:NamePrefix>
      <bookxml:NameSuffix>Jr.</bookxml:NameSuffix>
    </bookxml:Person>
  </bookxml:Authors>
  <bookxml:BookISBN10>1234567890</bookxml:BookISBN10>
  <bookxml:BookContentType>Novel</bookxml:BookContentType>
</NodeInfo>
```

BookXML 拡張要素を表 1 に列挙します。

10 桁 ISBN 番号から 13 桁 ISBN 番号への移行が進行中ですので、二つの ISBN 番号があります。2007 年 1 月 1 日から始まる 13 桁 ISBN 構造は、影響を及ぼすでしょう。

Novelty 要素, Reissue 要素, RevisedEdition 要素の一つは書籍名について選ばれます。新規の版番号は、常に 1 です。印刷業者にとって、修正のない再発行か、ささいな修正のある再発行か、あるいは、書籍内容に重要な変更のある改訂か、それを知ることは時として重要です。

書籍印刷業者は、書籍の名前から書籍の種類が連想できないことが時としてありますの

で、書籍名の内容を記述する要素を含めたいと思います。例えば、書籍のために適切な紙の等級を選ぶ時に、BookContentType 要素は、印刷業者を助けます。

表 1 BookXML 拡張要素は、次のデータ要素で定義されます。

名前	XML 要素名	データ型
書籍の名前	BookName	String
書籍シリーズの名前	BookSeriesName	String
著者の名前	Authors	Person
執筆者	Person	FamilyName, FirstName, NamePrefix, NameSuffix
姓名の姓	FamilyName	String
姓名の名	FirstName	String
名前の接頭辞	NamePrefix	String
名前の接尾辞	NameSuffix	String
書籍の 10 桁 ISBN 番号	BookISBN10	10-digit string
書籍の 13 桁 ISBN 番号	BookISBN13	13-digit string
書籍シリーズの 10 桁 ISBN 番号	BookSeriesISBN10	10-digit string
書籍シリーズの 13 桁 ISBN 番号	BookSeriesISBN13	13-digit string
版番号	Edition	String
新規	Novelty	true/false
再版	Reissue	true/false
改訂	RevisedEdition	true/false
書籍内容の種類	BookContentType	String

BookXML Schema

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!--Generated by Turbo XML 2.4.1.100. Conforms to w3c
http://www.w3.org/2001/XMLSchema-->
<xsd:schema xmlns:xsd="http://www.w3.org/2001/XMLSchema"
elementFormDefault="qualified">
  <xsd:attributeGroup name="bookType">
    <xsd:attribute name="type">
      <xsd:simpleType>
        <xsd:restriction base="xsd:string">
          <xsd:enumeration value="picture book"/>
          <xsd:enumeration value="text book"/>
        </xsd:restriction>
      </xsd:simpleType>
    </xsd:attribute>
  </xsd:attributeGroup>
  <xsd:element name="root">
    <xsd:complexType>
      <xsd:sequence>
        <xsd:element ref="Authors"/>
        <xsd:element ref="BookContentType"/>
        <xsd:element ref="BookISBN10"/>
        <xsd:element ref="BookISBN13"/>
        <xsd:element ref="BookSeriesISBN10"/>
        <xsd:element ref="BookSeriesISBN13"/>
        <xsd:element ref="BookName"/>
        <xsd:element ref="BookSeriesName"/>
        <xsd:element ref="Edition"/>
        <xsd:element ref="Novelty"/>
        <xsd:element ref="Person"/>
        <xsd:element ref="Reissue"/>
        <xsd:element ref="RevisedEdition"/>
      </xsd:sequence>
    </xsd:complexType>
  </xsd:element>
</xsd:schema>
```

```
</xsd:element>
<xsd:element name="BookName" type="BookName" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="BookName">
  <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="xsd:string"/>
  </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="Authors" type="Authors" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="Authors">
  <xsd:sequence>
    <xsd:element ref="Person" maxOccurs="unbounded"/>
  </xsd:sequence>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="BookISBN10" type="BookISBN10" nillable="true"/>
<xsd:simpleType name="BookISBN10">
  <xsd:restriction base="xsd:integer">
    <xsd:totalDigits value="10"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="BookISBN13">
  <xsd:restriction base="xsd:integer">
    <xsd:totalDigits value="13"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="BookSeriesISBN10">
  <xsd:restriction base="xsd:integer">
    <xsd:totalDigits value="10"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="BookSeriesISBN13">
  <xsd:restriction base="xsd:integer">
    <xsd:totalDigits value="13"/>
  </xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:simpleType name="BookTypeType">
```

```
<xsd:restriction base="xsd:string">
  <xsd:enumeration value="Children and youth book"/>
  <xsd:enumeration value="Comprehensive school book"/>
  <xsd:enumeration value="Sixth form and vocational school book"/>
  <xsd:enumeration value="Nonfiction book"/>
  <xsd:enumeration value="Suurteos"/>
  <xsd:enumeration value="Novel"/>
  <xsd:enumeration value="Poem book"/>
  <xsd:enumeration value="Art book"/>
</xsd:restriction>
</xsd:simpleType>
<xsd:element name="BookISBN13" type="BookISBN13" nillable="true"/>
<xsd:element name="BookSeriesISBN10" type="BookSeriesISBN10" nillable="true"/>
<xsd:element name="BookSeriesISBN13" type="BookSeriesISBN13" nillable="true"/>
<xsd:element name="BookSeriesName" type="BookSeriesName" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="BookSeriesName">
  <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="xsd:string"/>
  </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="Novelty" type="Novelty" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="Novelty">
  <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="xsd:boolean"/>
  </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="RevisedEdition" type="RevisedEdition" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="RevisedEdition">
  <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="xsd:boolean"/>
  </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="Reissue" type="Reissue" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="Reissue">
  <xsd:simpleContent>
```

```
<xsd:extension base="xsd:boolean"/>
</xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="Edition" type="Edition" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="Edition">
  <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="xsd:integer"/>
  </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="BookContentType" type="BookContentType" nillable="true"/>
<xsd:complexType name="BookContentType">
  <xsd:simpleContent>
    <xsd:extension base="BookTypeType">
      <xsd:attributeGroup ref="bookType"/>
    </xsd:extension>
  </xsd:simpleContent>
</xsd:complexType>
<xsd:element name="Person">
  <xsd:complexType>
    <xsd:sequence>
      <xsd:element ref="FamilyName"/>
      <xsd:element ref="FirstName"/>
      <xsd:element ref="NamePrefix" minOccurs="0"/>
      <xsd:element ref="NameSuffix" minOccurs="0"/>
    </xsd:sequence>
  </xsd:complexType>
</xsd:element>
<xsd:element name="FamilyName" type="xsd:string"/>
<xsd:element name="FirstName" type="xsd:string"/>
<xsd:element name="NamePrefix" type="xsd:string"/>
<xsd:element name="NameSuffix" type="xsd:string"/>
</xsd:schema>
```

付録 2 JDF ファイルのサンプル

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8" ?>
<JDF ID="ID_1" Type="Product" xmlns="http://www.CIP4.org/JDFSchema_1_1"
Status="Waiting" Version="1.2" xsi:type="Product" JobPartID="JobPartId1"
xmlns:xsi="http://www.w3.org/2001/XMLSchema-instance"
xmlns:bookxml="http://www.vtt.fi/bookxml" ICSVersions="Base_L1-1.0"
DescriptiveName="Forum Taloustieto"
xsi:schemaLocation="http://www.CIP4.org/JDFSchema_1_1 Schema1_3/JDF.xsd">
  <CustomerInfo CustomerJobName="Forum Taloustieto" CustomerOrderID="32.054J.02"
rRefs="Contact1">
    <ContactRef rRef="Contact1" />
  </CustomerInfo>
  <NodeInfo>
    <bookxml:BookName>Forum Taloustieto</bookxml:BookName>
    <bookxml:BookSeriesName>Forum</bookxml:BookSeriesName>
    <bookxml:Authors>
      <bookxml:Person>
        <bookxml:FirstName>Kauko</bookxml:FirstName>
        <bookxml:LastName>Hanninen</bookxml:LastName>
      </bookxml:Person>
      <bookxml:Person>
        <bookxml:FirstName>Markku</bookxml:FirstName>
        <bookxml:LastName>Liuskari</bookxml:LastName>
      </bookxml:Person>
      <bookxml:Person>
        <bookxml:FirstName>Jorma</bookxml:FirstName>
        <bookxml:LastName>Suonio</bookxml:LastName>
      </bookxml:Person>
    </bookxml:Authors>
    <bookxml:BookISBN10>951-1-19605</bookxml:BookISBN10>
    <bookxml:Edition>2</bookxml:Edition>
    <bookxml:Reissue>True</bookxml:Reissue>
  </NodeInfo>
  <ResourcePool>
```

```

    <Component ID="OutputComponent" Class="Quantity" Status="Unavailable"
ComponentType="FinalProduct" DescriptiveName="Forum Taloustieto" />
    <Component ID="ID_Cover" Class="Quantity" Status="Unavailable"
ProductType="Cover" ComponentType="PartialProduct" DescriptiveName="Cover" />
    <Component ID="ID_EndSheet" Class="Quantity" Status="Unavailable"
ProductType="Body" ComponentType="PartialProduct" DescriptiveName="End sheet"
/>
    <Component ID="ID_Block1" Class="Quantity" Status="Unavailable"
ProductType="BookBlock" ComponentType="PartialProduct" DescriptiveName="Pages"
ReaderPageCount="190" />
    <DeliveryIntent ID="ID_11" Status="Available" Class="Intent" rRefs="Contact2
Contact3">
        <DropIntent>
            <ContactRef rRef="Contact2" />
            <DropItemIntent Amount="3000">
                <ComponentRef rRef="OutputComponent" />
            </DropItemIntent>
            <Required DataType="TimeSpan" Preferred="2005-11-15T00:00:00-00:00" />
        </DropIntent>
        <DropIntent>
            <ContactRef rRef="Contact3" />
            <DropItemIntent Amount="2" Proof="ID_Proof1" />
            <Required DataType="TimeSpan" Preferred="2005-11-03T00:00:00-00:00" />
        </DropIntent>
    </DeliveryIntent>
    <BindingIntent ID="ID_12" Class="Intent" Status="Available">
        <BindingType DataType="EnumerationSpan" Preferred="SoftCover" />
        <SoftCoverBinding>
            <!-- CheckJDF は Endsheets 要素を許可しない -->
            <EndSheets DataType="OptionSpan" Preferred="true" />
            <GlueProcedure DataType="EnumerationSpan" Preferred="SideOnly" />
        </SoftCoverBinding>
    </BindingIntent>
    <LayoutIntent ID="ID_13" Status="Incomplete" Class="Intent">
        <FinishedDimensions DataType="ShapeSpan" Preferred="553 658 0" />

```

```
</LayoutIntent>
<ProofingIntent ID="ID_14" Status="Incomplete" Class="Intent">
  <ProofItem ProofName="ID_Proof1" />
  <Comment>Haluanne nahda arkit ennen kansitusta</Comment>
</ProofingIntent>
<Contact ContactTypes="Customer" ID="Contact1" Status="Available"
Class="Parameter">
  <Company OrganizationName="Kustannusosakeyhtio Otava" />
  <Person FirstName="Mikko" FamilyName="CustomerRouhiainen"
JobTitle="Kustannustoimittaja">
  <ComChannel Locator="02099 5890" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Landline" />
  <ComChannel Locator="040 220 8564" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Mobile" />
  <ComChannel Locator="cust.tomer@otava.fi" ChannelType="Email"
ChannelUsage="Business" />
  </Person>
  <Address City="Espoo" Region="Finland" Street="Tekniikantie 4 B"
Country="Finland" PostalCode="02044 Otava" />
</Contact>
<Contact ContactTypes="Delivery" ID="Contact2" Status="Available"
Class="Parameter">
  <Company OrganizationName="Kustannusosakeyhtio Otava" />
  <Person FirstName="Mikko" FamilyName="DeliveryRouhiainen"
JobTitle="Kustannustoimittaja">
  <ComChannel Locator="02077 5890" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Landline" />
  <ComChannel Locator="040 560 8564" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Mobile" />
  <ComChannel Locator="deli.very@ota.fi" ChannelType="Email"
ChannelUsage="Business" />
  </Person>
  <Address City="Espoo" Region="Finland" Street="Tekniikantie 4 B"
Country="Finland" PostalCode="02044 Otava" />
</Contact>
```

```
<Contact ContactTypes="Delivery" ID="Contact3" Status="Available"
Class="Parameter">
  <Company OrganizationName="Kustannusosakeyhtio Otava" />
  <Person FirstName="Mikko" FamilyName="ProofingRouhiainen"
JobTitle="Kustannustoimittaja">
  <ComChannel Locator="02088 5890" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Landline" />
  <ComChannel Locator="040 880 8564" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Mobile" />
  <ComChannel Locator="proofing.rouhiainen@deli.fi" ChannelType="Email"
ChannelUsage="Business" />
  </Person>
  <Address City="Espoo" Region="Finland" Street="Tekniikantie 4 B"
Country="Finland" PostalCode="02044 Otava" />
</Contact>
<Contact ContactTypes="Approver" ID="Contact4" Status="Available"
Class="Parameter">
  <Company OrganizationName="Indigio Oy" />
  <Person FirstName="Mikko" FamilyName="ArtRouhiainen"
JobTitle="Kustannustoimittaja">
  <ComChannel Locator="020775440" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Landline" />
  <ComChannel Locator="040 266 8564" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Mobile" />
  <ComChannel Locator="jaska.jokunen@joku.fi" ChannelType="Email"
ChannelUsage="Business" />
  </Person>
  <Address City="Espoo" Street="Tekniikantie 4 B" Country="Finland"
PostalCode="02044 Otava" />
</Contact>
<Contact ContactTypes="Approver" ID="Contact5" Status="Available"
Class="Parameter">
  <Company OrganizationName="Indigio Oy" />
  <Person FirstName="Mikko" FamilyName="Art2Rouhiainen"
JobTitle="Kustannustoimittaja">
```

```

    <ComChannel Locator="02077 5890" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Landline" />
    <ComChannel Locator="040 560 8564" ChannelType="Phone"
ChannelUsage="Business" ChannelTypeDetails="Mobile" />
    <ComChannel Locator="mikko.art2@art.fi" ChannelType="Email"
ChannelUsage="Business" />
  </Person>
  <Address City="Espoo" Region="Finland" Street="Tekniikantie 4 B"
Country="Finland" PostalCode="02044 Otava" />
</Contact>
  <Comment>Kansi ok. Haluamme nahda arkit ennen kansitusta</Comment>
</ResourcePool>
<ResourceLinkPool>
  <ComponentLink rRef="OutputComponent" Usage="Output" Amount="3000" />
  <ComponentLink rRef="ID_Cover" Usage="Input" Amount="3000"
ProcessUsage="Cover" />
  <!-- CheckJDF は ProcessUsage="Endsheet"を許可しない -->
  <ComponentLink rRef="ID_EndSheet" Usage="Input" ProcessUsage="Endsheet"
Amount="3000" />
  <ComponentLink rRef="ID_Block1" Usage="Input" Amount="3000" />
  <DeliveryIntentLink rRef="ID_11" Usage="Input" />
  <BindingIntentLink rRef="ID_12" Usage="Input" />
  <LayoutIntentLink rRef="ID_13" Usage="Input" />
  <ProofingIntentLink rRef="ID_14" Usage="Input" />
</ResourceLinkPool>
  <JDF ID="ID_2" Type="Product" Status="Waiting" xsi:type="Product"
DescriptiveName="Cover">
  <ResourceLinkPool>
    <ComponentLink rRef="ID_Cover" Usage="Output" />
    <MediaIntentLink rRef="ID_21" Usage="Input" />
    <LayoutIntentLink rRef="ID_22" Usage="Input" />
    <ColorIntentLink rRef="ID_23" Usage="Input" />
    <ArtDeliveryIntentLink rRef="ID_24" Usage="Input" />
  </ResourceLinkPool>
</ResourcePool>

```

```

    <MediaIntent ID="ID_21" Class="Intent" Status="Available"
DescriptiveName="Cover media intent">
    <MediaType DataType="EnumerationSpan" Preferred="Paper" />
    <StockBrand DataType="StringSpan" Preferred="0513" />
    <Weight DataType="NumberSpan" Preferred="275" />
    <Thickness DataType="NumberSpan" Preferred="0" />
</MediaIntent>
    <LayoutIntent ID="ID_22" Class="Intent" Status="Available"
Sides="OneSided">
    <FinishedDimensions DataType="ShapeSpan" Preferred="553 638 0" />
</LayoutIntent>
    <ColorIntent ID="ID_23" Class="Intent" Status="Available">
    <ColorPool Class="Parameter" ID="ID_ColorPool_Color"
DescriptiveName="Colors for the job">
    <Color Name="Cyan" CMYK="1 0 0 0" />
    <Color Name="Magenta" CMYK="0 1 0 0" />
    <Color Name="Yellow" CMYK="0 0 1 0" />
    <Color Name="Black" CMYK="0 0 0 1" />
    <Color Name="Varnish"/>
</ColorPool>
    <ColorsUsed>
    <SeparationSpec Name="Cyan" />
    <SeparationSpec Name="Magenta" />
    <SeparationSpec Name="Yellow" />
    <SeparationSpec Name="Black" />
    <SeparationSpec Name="Varnish" />
</ColorsUsed>
</ColorIntent>
    <ArtDeliveryIntent ID="ID_24" Status="Incomplete" Class="Intent"
rRefs="Contact4">
    <ContgactRef rRef="Contact4"/>
    <ArtDelivery ArtDeliveryType="DigitalFile">
    <ArtDeliveryDate DataType="TimeSpan" Preffed="2005-10-27T00:00:00-
00:00"/>
    </ArtDelivery>

```

```

    </ArtDeliveryIntent>
  </ResourcePool>
</JDF>
<JDF ID="ID_3" Type="Product" Status="Waiting" xsi:type="Product"
DescriptiveName="Endsheet">
  <ResourceLinkPool>
    <ComponentLink rRef="ID_Endsheet" Usage="Output" />
    <MediaIntentLink rRef="ID_31" Usage="Input" />
  </ResourceLinkPool>
  <ResourcePool>
    <MediaIntent ID="ID_31" Class="Intent" Status="Available">
      <MediaType DataType="EnumerationSpan" Preferred="Paper"/>
      <StockBrabd DataType="StringSpan" Preferred="0701"/>
    </MediaIntent>
  </ResourcePool>
</JDF>
<JDF ID="ID_4" Type="Product" Status="Waiting" xsi:type="Product"
DescriptiveName="Block1">
  <ResouceLinkPool>
    <ComponentLink rRef="ID_Block11" Usage="Output">
    <LayoutIntentLink rRef="ID_41" Usage="Input">
    <ColorIntentLink rRef="ID_42" Usage="Input">
    <MediaIntentLink rRef="ID_43" Usage="Input">
    <ArtDeliveryIntentLink rRef="ID_44" Usage="Input">
  </ResouceLinkPool>
  <ResoucePool>
    <LayoutIntent ID="ID_41" Class="Intent" Status="Available
Sides="TwoSidedHeadToHead">
      <FinishedDimensions DataType="ShapeSpan" Preferred="553 638 28"/>
      <Pages DataType="IntegerSpan" Preferred="192"/>
    </LayoutIntent>
    <ColorIntent ID="ID_42" Class="Intent" Status="Available">
      <ColorPool Class="Parameter" ID="ID_ColorPool_Block1"
DescriptiveName="Colors for the job">
        <Color Name="Cyan" CMYK="1 0 0 0" />

```

```

    <Color Name="Magenta" CMYK="0 1 0 0" />
    <Color Name="Yellow" CMYK="0 0 1 0" />
    <Color Name="Black" CMYK="0 0 0 1" />
  </ColorPool>
  <ColorsUsed>
    <SeparationSpec Name="Cyan" />
    <SeparationSpec Name="Magenta" />
    <SeparationSpec Name="Yellow" />
    <SeparationSpec Name="Black" />
  </ColorsUsed>
</ColorIntent>
  <MediaIntent ID="ID_43" Class="Intent" Status="Available"
DescriptiveName="Block1 media">
    <MediaType DataType="EnumerationSpan" Preferred="Paper" />
    <StockBrand DataType="StringSpan" Preferred="0311" />
    <Weight DataType="NumberSpan" Preferred="00" />
    <Thickness DataType="NumberSpan" Preferred="000" />
  </MediaIntent>
  <ArtDeliveryIntent ID="ID_44" Status="Incomplete" Class="Intent"
rRefs="Contact5">
    <ContactRef rRef="Contact5" />
    <ArtDelivery ArtDeliveryType="DigitalFile">
      <ArtDeliveryDate DataType="TimeSpan" Preferred="2005-10-27T00:00:00-
00:00" />
    </ArtDelivery>
  </ArtDeliveryIntent>
</ResourcePool>
</JDF>
</JDF>

```

付録3 スタイルシートを介して処理された JDF ファイル

専門家でなくても JDF ファイルのデータ内容を容易に考察できるように、この表示では JDF の構造を隠します。2 番目の欄は、JDF の行を示し、1 番目の欄は、その JDF の行が何を意味するかを（主にフィンランド語で）明示します。3 番目の欄は、それぞれの JDF 属性値です。

[訳注 この箇所はフィンランド語のため訳者の能力を超えていますので割愛します]